

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期湧別町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道紋別郡湧別町

3 地域再生計画の区域

北海道紋別郡湧別町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1950年の25,505人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年には7,901人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が4,211人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、1955年の9,557人をピークに減少し、2025年には677人となる一方、老年人口（65歳以上）は1955年の1,211人から2025年には3,114人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1955年の14,305人をピークに減少傾向にあり、2025年には4,110人となっている。

過去20年の自然動態をみると、出生数は2004年には100人であったが、その後は減少傾向で2024年には28人となっている。その一方で、死亡数は2024年には149人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲121人（自然減）となっている。

社会動態については、1950年の総人口ピーク以降、人口の流出が続いており、直近の人口移動の状況をみると、2024年には転入者（259人）が転出者（281人）を下回る社会減（▲22人）であった。このように、人口の減少は出生数の減（自然減）や、就学・就労のための転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに

伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、子どもを産み育てる環境の整備と併せて、雇用の場の確保と所得の向上に力を注ぐ必要がある。

これらの実現に向けて、湧別町の地域資源、これまで培ってきた文化や歴史、地理的条件等を積極的に活用した企業の誘致や創業、基幹産業である農林水産業を魅力ある産業として発展させ、農林水産業を核とした新しい産業の創出を促すなど「ひと」や「しごと」の動きを意図的に創出することにより経済の活性化策を講じていくことが必要であり、個別の産業推進のみならず、それぞれの産業が得意分野の知識や技術を共有し連携しながら地方創生を進めていくことが求められている。

また、地域の活力は、「人」と「資源」と捉え、地域の中でみんなが力を合わせるような土壌をつくりながら、外部の人材やノウハウ、人の流れを内部資源に結びつけることによる内発的な発展を促し、人口・経済・地域社会課題の対策を講じるとともに、少子高齢化の進行に伴う人口問題の観点から、人口規模に応じたコンパクトなまちづくりへの検討など、湧別町に住んでいて良かった、湧別町に住んでみたいと思われる総合計画が示す「人と自然が輝くオホーツクのまち」を将来像としたまちづくりを推進することで湧別町の創生を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標1 安心して住み続けたいと思う魅力あるゆうべつをつくる
- ・基本目標2 魅力と活力を高め、人が集うゆうべつをつくる、安心して暮らし、結婚・出産・子育ての希望がかなうゆうべつをつくる
- ・基本目標3 ゆうべつの特性を最大限に活かし、地域産業を活性化させ、雇用を支える

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	人口	7,835人	6,775人	基本目標1
イ	人口の社会増減数	△21人	0人	基本目標2
イ	合計特殊出生率	1.26	1.53	基本目標2
ウ	生産年齢人口比率 (15歳以上65歳未満)	51.7%	48.5%	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期湧別町まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア 安心して住み続けたいと思う魅力あるゆうべつをつくる事業
- イ 魅力と活力を高め、人が集うゆうべつをつくる、安心して暮らし、結婚・出産・子育ての希望がかなうゆうべつをつくる事業
- ウ ゆうべつの特性を最大限に活かし、地域産業を活性化させ、雇用を支える事業

② 事業の内容

- ア 安心して住み続けたいと思う魅力あるゆうべつをつくる事業

豊かな自然環境の保全と環境に配慮した快適でゆとりのある生活環境の整備により安全で快適な暮らしを支え、脱炭素社会の実現を核とした環境配慮型施策の推進や公共施設の統廃合を行い効率的な運用を図る。

また、デジタル技術を積極的に活用し、住民生活の質の向上を図るとともに、周辺自治体と連携しながら地域課題の解決に取り組み、町民が湧別町の素晴らしさを実感し、感動とよろこびを共有しながら心豊かに生きがいを持ち安心して暮らせる町づくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・ 地域公共交通確保維持対策
- ・ 公共施設等総合管理計画推進
- ・ 行政手続等デジタル化
- ・ 脱炭素推進 等

イ 魅力と活力を高め、人が集うゆうべつをつくる、安心して暮らし、結婚・出産・子育ての希望がかなうゆうべつをつくる事業

子どもからお年寄りまで、全ての世代がいきいきと安心して暮らすことができるよう、少子化と人口減少への対策を基盤とし、未来を担う多様な人材を育成しながら地域の担い手を確保する。また、湧別町の魅力を広く発信し、移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大に向けた取り組みを実施することで、湧別町へ人の流れを生み出すとともに、医療・保健・福祉体制の充実を図り、結婚から妊娠、出産、子育て、教育に至る切れ目ない施策を通じて住み続けたいまちづくりに取り組む。

【具体的な事業】

- ・ 移住・定住促進対策
- ・ 子育て支援
- ・ 地元高等学校魅力化等推進
- ・ 医療施設等整備支援 等

ウ ゆうべつの特性を最大限に活かし、地域産業を活性化させ、雇用を支える事業

本町の基幹産業である農林水産業をはじめ、地域経済を支える商工業等の振興は仕事の確保において重要な役割を果たしている。また、地域産業の競争力を強化するためには、若者や女性など将来を担う人材の育成と確保が欠かせないことから、雇用の魅力を高め、若い世代が希望を持って働ける環境を整えることが、本町の持続可能な地域発展に向けた

重要課題である。そのため、基幹産業の経営基盤の強化や就労環境の整備・改善を支援し、地域特性を活かした産業の持続的な発展に向けた取り組みを推進する。

【具体的な事業】

- ・ 農林水産業基盤整備
- ・ 起業支援
- ・ 魅力情報等発信
- ・ 後継者支援対策 等

※なお、詳細は第3期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者で構成された湧別町行政改革推進委員会による効果検証を行い、必要に応じて取組内容を改善する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで